

城北中学校・高等学校 スクール・ミッション

本校は「着実・勤勉・自主」の校訓のもと、教育目標として「人間形成と大学進学」を掲げています。

創立の理念

城北の創立者 深井鑑一郎は創立にあたって「教育の使命は、社会に役立つ有為なる人間の育成にある」とし、「そのような人間とはまず優れた人間性を備えその上に広い教養と高い専門性を修めた者である」と教えました。そして中等教育の役割を次のように語りました。

「中等教育の役割は善良で有為なる市民となるのに必要な学問・素養を身につけさせることにあるが、その上になお高い知識や技能を求めて上級の学校への進学を希望する生徒がいたなら、その志望を遂げさせるのも重要な責務である」

本校の「人間形成と大学進学」という教育目標はこの深井の考えに基づいたものです。

人間形成

「人間形成」とは、「社会を支え、社会を導くリーダーとして活躍する人間、社会を支え、人と人を繋ぐことのできる人間の育成」のこと。自由と規律のバランスが取れた校風が社会に有為な魅力ある人材を育てます。

大学進学

生徒一人一人の希望を叶えるための次のステージへの進学を指します。城北学園では夢を追いかけ、将来は社会の第一線で活躍していく生徒を育てます。

城北中学校・高等学校 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー

城北中学校・高等学校では次のような生徒の育成することを目指します・

1. 社会性を備え正しい道理の実行ができる人間の育成
2. 努力を惜しまず自律的に行動できる人間の育成
3. 感受性を豊かにもち、自己啓発と創造力に富む人間の育成

城北中学校・高等学校 スクール・ポリシー

カリキュラム・ポリシー

生徒の発達段階に合わせ目標を定めた「3期体制（基礎期・錬成期・習熟期）」による一貫教育プログラムを実践し、教育目標である「人間形成と大学進学」の達成を目指します。

人間形成では、社会で活躍する個性を生かした人間に育ててもらいたいと考え指導しています。そのために友人とともに行事やクラブ活動の経験を通して、個を生かしながらチームの一員として目標へ努力し成長します。

大学進学では、生徒の希望を叶えるための難関大学進学に向けて指導しています。そのために、基礎・基本を大切にし、少人数制授業や講習会をはじめ、応用をきかせることができるようにし、早めの進展により演習を多く重ねることで学力を高めていきます。

中学1年・中学2年（基礎期）

6年間の土台となる時期です。基本的な生活習慣の確立と教科の基礎力を高め、共存に必要な思いやりを習得してもらいます。各種行事やクラブ活動を通じて、勉学のみならず社会性や思いやりを養うと同時に、創造力や思考力を高め、コミュニケーション能力や多様性を受け入れる広い心を身に付けます。

中学3年・高校1年（錬成期）

中学を終え、新たに高校生活に移行する大切な2年間。勉強の難易度も高くなり、基礎学力から応用できる力を養う時期です。社会に目を向け、将来について真剣に考える時期でもあります。各行事を通してグローバルな視野を獲得し、未来の自分を考え向き合い、行動する力を習得します。

高校2年・高校3年（習熟期）

6年間の集大成として自分の力で未来を創る期間です。志を持ち、より高みを目指す意識や学習習慣が求められる時期です。大学受験に最適な専門科目・選択科目を受講できるコース制に分かれます。積み重ねてきた仲間との団結力、サポートする教員と共に強い青年へ成長していきます。

城北中学校・高等学校 スクール・ポリシー

アドミッション・ポリシー

城北中学校・高等学校の入学試験は4教科（中学入試・国語・算数・社会・理科）または3教科（高校・国語・英語・数学）の試験の結果を重視しています。これらの教科は生徒の目標となる「大学進学」に向かっていくにあたり、大切に、土台となるものと考えてるからです。また、高校の推薦入試では教科だけではなく、さまざまな場面でリーダーシップを取る生徒、他人や周囲を支えることができる生徒を求めています。そのため、志願理由書の提出と面接を実施しています。